2027年3月期
中間決算説明資料
CYBERDYNE株式会社 (証券コード：7779)

2026年11月12日





業績報告

2027年3月期1H - 連結業績サマリー（IFRSベース）

売上収益および営業利益は、国内·APACの製品レンタル等および米国・EMEAの治療サービス等の増加を中心に対前期増収・損失改善
税引前利益および当期利益は主に投資有価証券評価益の減少により対前期減益

（単位：百万円）	2025/1H	2026/1H	増減額	前年同期比
売上収益	1,963	2,008	+ 45	+2.3%
営業利益	△ 174	△ 124	+ 50	-
税引前利益	297	170	△ 127	△42.9%
当期利益（親会社帰属）	70	54	△ 16	△22.5%

売上収益

2,008百万円
前期比 ＋45百万円

- 国内・APACの製品レンタル等 +26百万円 (事業△2、為替+28)
- EMEAの製品レンタル等 △82百万円 (事業△99、為替+18)
- 治療サービス等 +130百万円 (事業+50、為替+79)
- 国内その他 △33百万円

営業利益

△124百万円
前期比 ＋50百万円

- 国内・APACの製品レンタル等 +45百万円（事業+27、為替+18）
- EMEAの製品レンタル等 △80百万円 (事業△86、為替+7)
- 治療サービス等 +16百万円 (事業+19、為替△3)
- 国内その他 △13百万円
- R&D・本社費用等 +76百万円 (費用減)

税引前利益

170百万円
前期比 △127百万円

- 営業利益差額　+50百万円
- 投資有価証券評価益等の金融収益　△217百万円 (今年: +410、昨年: +627)
- 金融費用・その他　+40百万円 (今年: △116、昨年: △156)

※ 為替レート USD/JPY : 26/3月末 159.88 => 26/9月末 157.35、 25/3月末 149.52 => 25/9月末 148.88
EUR/JPY : 26/3月末 183.41 => 26/9月末 178.34、 25/3月末 162.08 => 25/9月末 174.47

事業別の連結業績：売上収益/営業利益（上期累計）

製品レンタル等は、国内・APAC・米国が増加、EMEAはウクライナ等で減少、全体として対前期で減少
治療サービス等は、米国・EMEAが増加、全体として対前期で増加

（単位：百万円）		2025/1H	2026/1H	増減額	前年同期比
製品レンタル等	売上収益 事業利益（マージン%）	1,030 495 (48%)	978 465 (48%)	△ 52 △ 31 (△1%)	△5% △6%
治療サービス等	売上収益 事業利益（マージン%）	822 △ 46 (△6%)	952 △ 29 (△3%)	+ 130 + 16 (2%)	+16% -
その他	売上収益 事業利益（マージン%）	112 6 (5%)	79 △ 7 (△9%)	△ 33 △ 13 (△14%)	△30% -
R&D･本社費用等	調整額	△ 630	△ 553	+ 77	-
連結合計 (IFRS基準)	売上収益 営業利益（マージン%）	1,963 △ 174 (△9%)	2,008 △ 124 (△6%)	+ 45 + 50 (3%)	+2% -

※1 事業利益は、事業ごとの売上収益から営業費用を控除した損益額
※2 R&D・本社費用等は、研究開発費、本社管理費、その他の収益・費用等の調整額

- 製品レンタル等：当社グループの製品のレンタル収入（販売収入を含む）
- 治療サービス等：当社グループの治療施設における治療費収入（ロボケアセンター利用料を含む）
- その他：当社グループのその他売上収入（睡眠アプリ子会社など）

事業別・地域別の売上収益（上期累計）

（単位：百万円） 上段：FY2026 （下段：FY2025）	国内	EMEA	APAC	AMER	合計	前年比
製品レンタル等	489 (488)	163 (245)	302 (277)	24 (20)	978 (1,030)	△ 52 (△ 5%)
治療サービス等	59 (62)	45 (33)	- (-)	848 (726)	952 (822)	+130 (+ 16%)
その他	79 (112)	- (-)	- (-)	- (-)	79 (112)	△ 33 (△ 30%)
合計	627 (662)	208 (278)	302 (277)	872 (746)	2,008 (1,963)	+45 (+ 2%)
前年同期比	△ 35 (△ 5%)	△ 71 (△ 25%)	+24 (+ 9%)	+126 (+ 17%)		
	国内	海外				
売上収益比率	31%	69%			100%	

AMER ：北米および中南米
EMEA : Europe, the Middle East and Africa（欧州、中東およびアフリカ）
APAC : Asia-Pacific（アジア太平洋）(注)日本を除く

製品レンタル等 - 製品別 売上収益内訳（上期累計）

（単位：百万円） 上段：FY2026 （下段：FY2025）	製品タイプ	国内	海外	合計
サイバニクス治療 （機能改善・機能再生）	HAL下肢タイプ（医療用）	231 (210)	296 (385)	527 (595)
	HAL下肢タイプ（非医療用）	65 (76)	- (-)	65 (76)
	HAL単関節タイプ	46 (48)	75 (75)	120 (123)
介護自立支援	HAL腰タイプ	39 (40)	69 (58)	108 (98)
作業支援	HAL腰タイプ	16 (18)	- (-)	16 (18)
	移動ロボット(CL02等)	40 (51)	- (-)	40 (51)
その他（AcousticX、HAL付属品、消耗品等）		54 (45)	48 (24)	102 (69)
合計		489 (488)	489 (542)	978 (1,030)

事業方針・事業成長に向けた取り組み

サイバニクスによる『テクノピアサポート社会』の実現

人とテクノロジーが共生して相互に支えあう未来社会

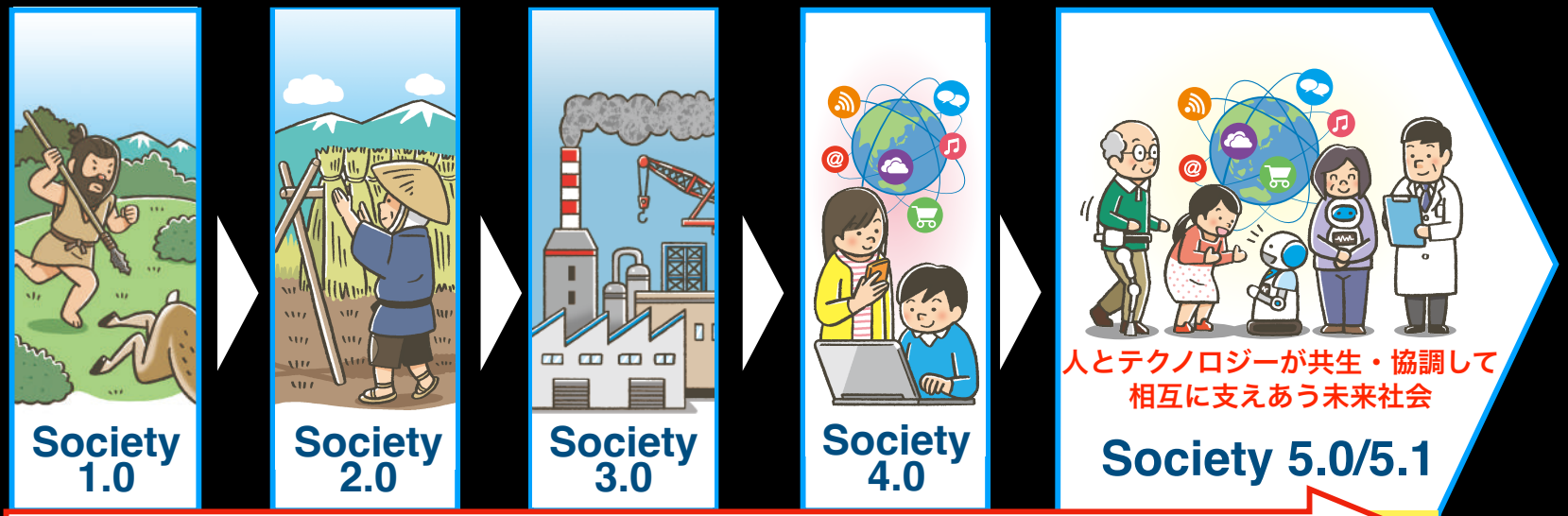
健康状態、身体機能、認知・心理などに問題を抱える人々、広く社会で働く人々を対象
世代を超えた人々の自立度・自由度を高め、生活・心身等の諸問題を解決できる安心安全な社会（Well-being社会）

テクノロジーによる社会変革の変遷

脳

テクノロジー

仲間



テクノロジーの発達と共に多くの人の寿命が延伸・・・超高齢化

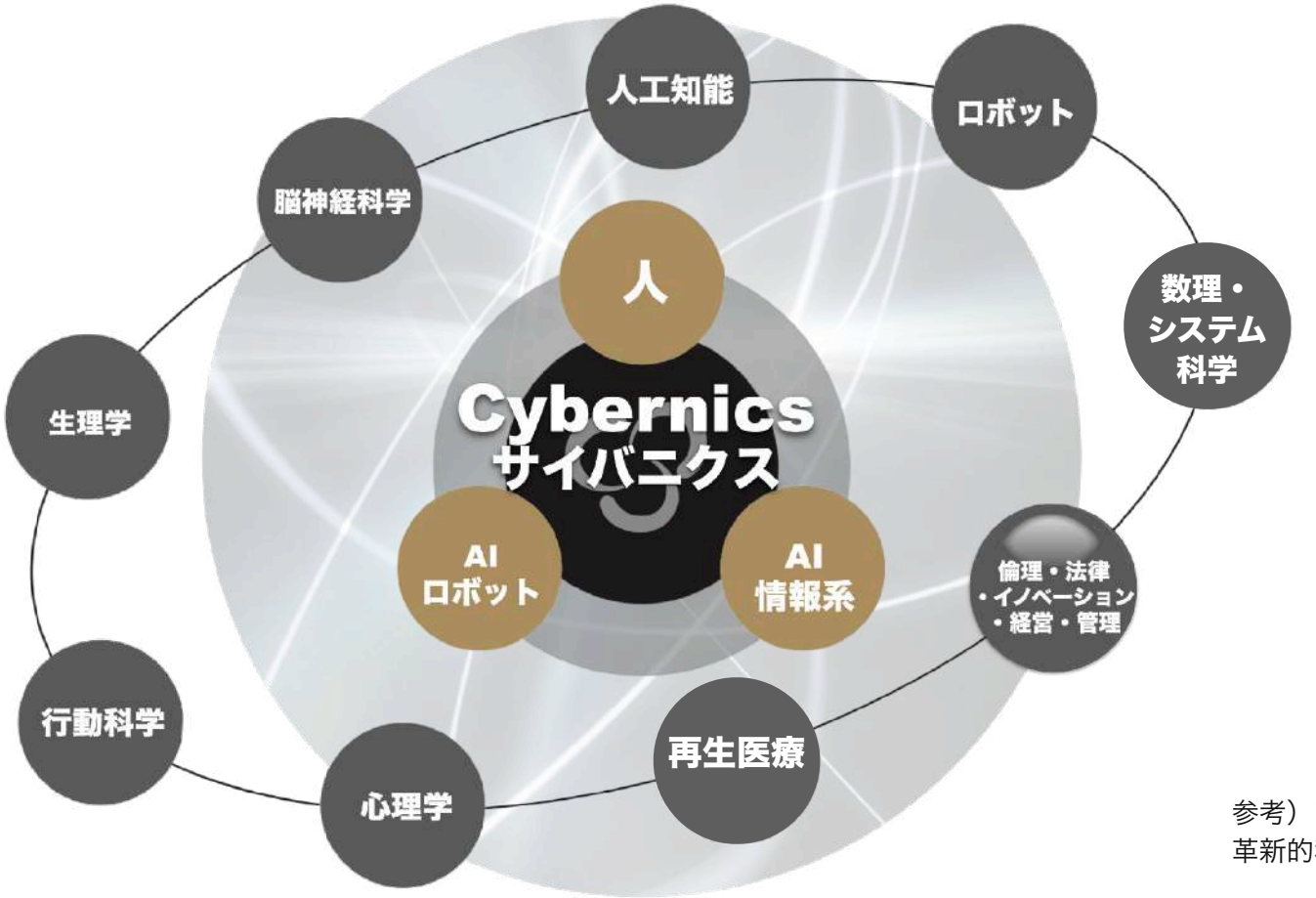
フィジカル空間 (物理空間)　サイバー空間　サイバニクス空間

サイバニクス技術を駆使して 「人」と「サイバー・フィジカル空間」 を融合する！

→ロボット産業、IT産業に続く新産業『サイバニクス産業』を創出

サイバニクス技術：サイバニクス産業の革新的コア技術

サイバニクス：バイオ・医療系テクノロジーとAI・ロボット・情報系テクノロジーの融合

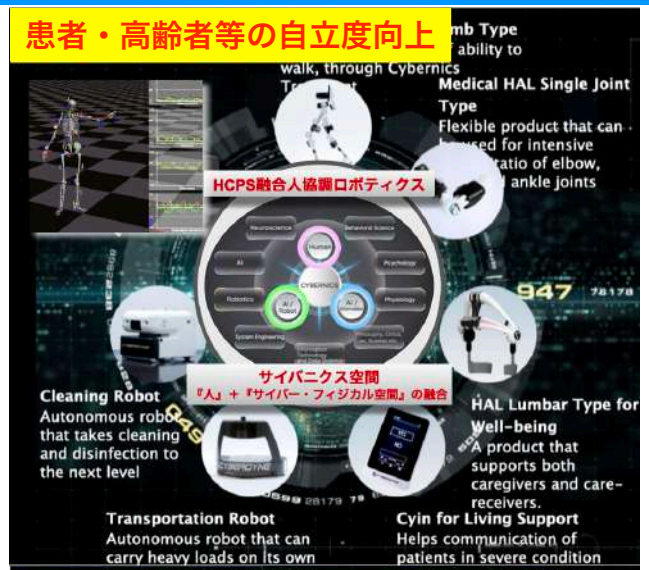


***サイバニクス**：人・*AI* ロボット・情報系を中心として、脳・神経科学、生理学、人工知能（*AI*）、ロボット工学、情報技術（IT）、心理、経済・イノベーションなどの異分野を融合複合し、バイオ・医療系テクノロジーとAI・ロボット・情報系テクノロジーの融合を実現する最先端領域の科学技術

参考）内閣府のFIRST、ImPACT、SIPのプログラムでも最先端の革新的科学技術領域の開拓として取り組まれている。

→　ロボット産業、IT産業に続く「サイバニクス産業」の創出に向けて

『人』＋『サイバー・フィジカル空間』の融合空間（HCPS）での サイバニクス（HCPS融合サイバニクスwithフィジカルAI）を軸とする事業展開





第５次産業革命に向けて！
『人』＋「サイバー・フィジカル空間」
HCPS融合サイバニクスwithフィジカルAI
ロボット産業・IT産業に続く
「サイバニクス産業」







サイバニクス医療健康イノベーション（予防・医療・リハビリ・介護・健康）

医療／ヘルスケア／健康生活

Pre-Hospital
医療前期・生活期：予防／早期発見

Hospital
診断、治療、入院・通院

Post-Hospital
医療後期・生活期：機能改善、自立支援

医療前期・生活期

急性期 → 回復期

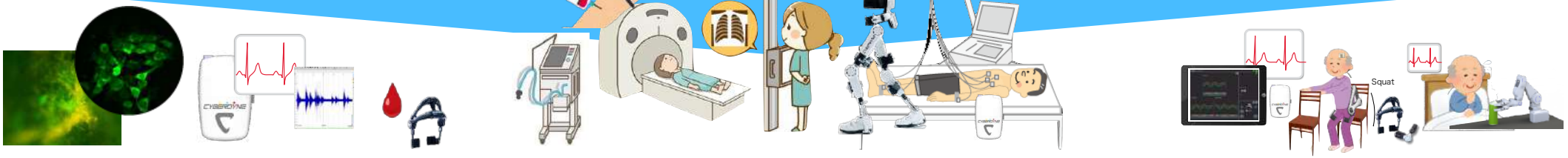
医療後期・生活期

家庭・職場・生活空間



病院

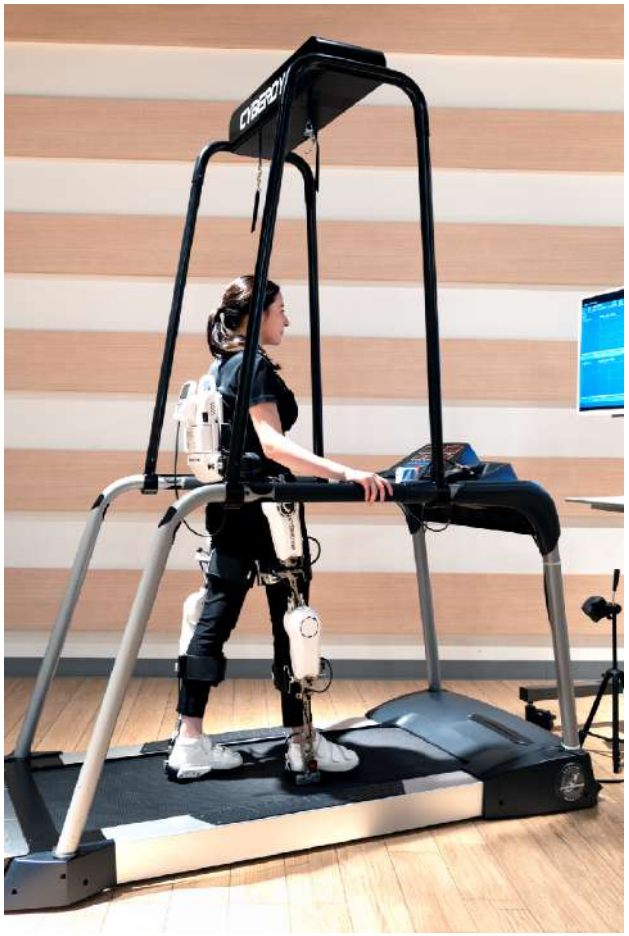
家庭・職場・生活空間



医療分野と非医療分野が相互に連携・融合し、包括的メディカル・ヘルスケアへと展開

装着型サイボーグ：新型 医療用HAL下肢タイプ(ML08) レンタル販売開始

医療用HAL下肢タイプの新型モデルのレンタル販売を開始（2026年5月～）



新型モデルの主な特長

✓**サイズ集約による運用効率アップ**

腰幅違いによる2タイプ展開

1台で身長150～190cmに対応し、従来の**複数サイズ運用を大幅に簡素化**

✓ **より力強く、安定したアシスト**

装着者をしっかり支える構造と、アシスト力の伝達効率向上により、

歩行時の安定性、安心感が向上

✓ **“より自然で歩きやすい”歩行を実現**

AI姿勢判定によるアルゴリズムの強化

より自然な歩行を実現し、トレッドミル歩行や速い歩行への対応がしやすく

機器重量を感じにくい設計により、疲れにくく、長時間使用しやすい仕様

✓ **高い耐久性と使いやすさ**

フレーム剛性や耐久性を向上。

摩耗や故障リスクを低減するとともに、使用中の緩みやズレを抑えることで、

日々の運用性も向上

【予防・早期発見、診断チェック】小型バイタルセンサー「Cyvis」

心疾患の早期発見・早期治療・予後管理！　脳卒中・認知症の予防へ

日常的な連続モニタリングにより、脳梗塞や血管性認知症の原因となる血栓形成につながる心房細動を捉え早期に対処







Cyvis M100の主な特長

✓ 長時間連続計測
- 1回の充電で約10日間の心電図計測が可能

✓ 様々なデータが同時計測可能
- 加速度（身体の動き）、角度
- 気圧
- 体表面温度、衣服内温度・湿度*　*段階的にリリース

✓ アプリでデータ確認
- 計測データは、スマホアプリで簡単確認
- 行動記録もアプリから簡単登録

✓ データ抽出不要・遠隔でも閲覧可能
- 計測データは、スマホやタブレットを介して
  セキュアなクラウドに自動保存
- 遠隔でもPCブラウザからデータを閲覧可能

【予防・早期発見、診断チェック】小型バイタルセンサー「Cyvis」

CyvisM100 医療機関向けホルター型心電図検査支援サービス





ホルター型心電図検査の診療報酬

8時間以上の場合：1,730点/回

7日以上の場合　：2,050点/回*

1点=10円

*2026年度診療報酬改定で「長時間心電図加算320点」が新設

導入キャンペーン概要*

対象：国内医療機関

初期費用：0円

月額基本料金：18,000円

検査回数に応じた利用料金：6,600円/回

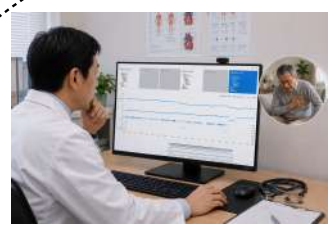
表示金額は税抜

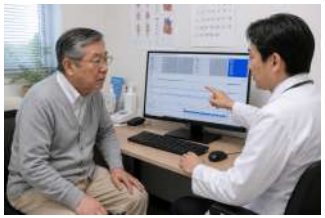
*諸条件あり

【予防・早期発見、診断チェック】小型バイタルセンサー「Cyvis」

クラウドへのデータ集積・AI解析で、医療・非医療を連携・融合

病院





保険診療用医療機器としての展開
（ホルター心電図検査）

救急現場



職場



法人向け従業員健康管理
サービスとしての展開

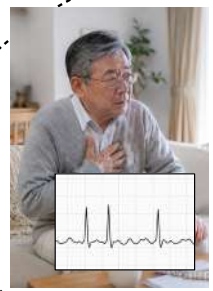


C-Cloud

データ共有・一元管理

心電図データ　バイタル情報　解析結果・アラート

家庭





個人用ヘルスケア（見守り）
サービスとしての展開



遠隔の家族

施設





法人向け入居者見守りサービス
としての展開

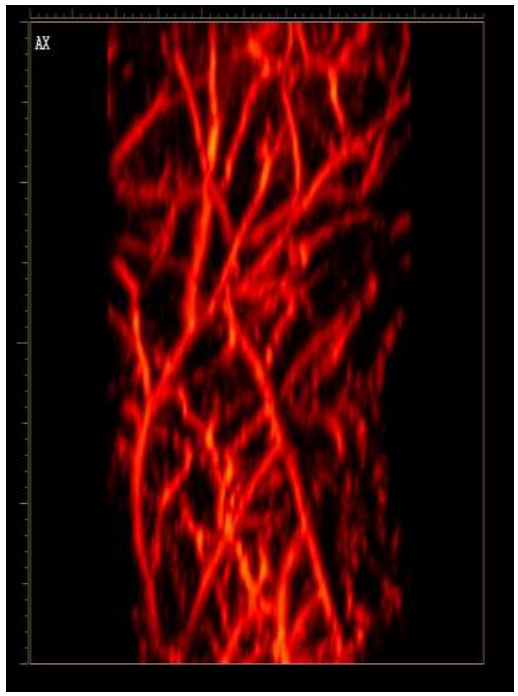
【予防・早期発見】LED光源方式光音響イメージング装置「Acoustic X」

X線無し・造影剤無し・非侵襲・リアルタイムで高解像度３Dイメージング！

サイバーダイン社が保有する国際特許！
（LED光源方式等）



バイオフォトニクスを扱う米国の業界専門誌「BioPhotonics」の表紙を飾る



末梢血管や血液の状態など

従来の画像診断装置では診ることのできなかった
末梢レベルの検査が可能に！

適用例

- **糖尿病性の足病変の定期検査・診断**
- 再生医療による血管再生状況の検査
- がんの検査・診断
- 加齢に伴う肌の検査　など

次世代医療用画像診断装置として医療機器化を推進中

【*HCPS*融合サイバニクス*with*フィジカル*AI* プラットフォーム】の事業展開の例：
複数のサイバニクス技術を組み合わせた医療技術ソリューション事業として、
次世代治療・ケア体系としての事業を計画し展開していく

装着型サイボーグ “HAL”

装着型サイボーグ “HAL” including AI

脳神経由来の生体電位信号により動作

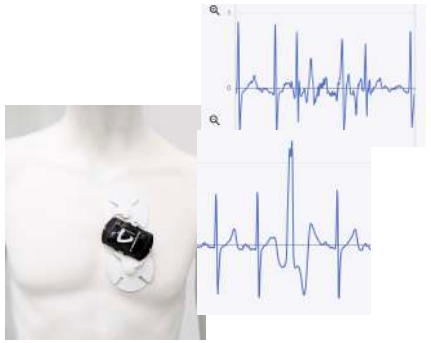




バイタルセンサー “Cyvis”

バイタルセンサー “Cyvis”

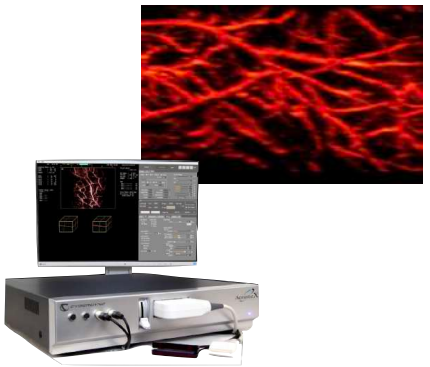
生体電位信号（ECG, EEGなど), 身体動作,
体表面温度, SpO2, 呼吸状態(オプション)など



光音響イメージングシステム “AcousticX”

光音響イメージングシステム “AcousticX”

末梢血管を、X線無し・造影剤無し・非侵襲・
リアルタイムで高解像度３Dイメージング



研究用モデル



医療用モデル

*開発中

予防、早期発見、治療、日々の健康管理（経過観察、改善）を一体的に扱う

➡ 各デバイスから取得されるデータは、C-Cloudにより集積・AI解析・AI処理され、総合的な医療・健康サービス事業展開も可能！

HCPS融合サイバニクスwithフィジカルAI プラットフォームの事例

『人』＋『サイバー・フィジカル空間』の融合空間での サイバニクス（HCPS融合サイバニクスwithフィジカルAI）を軸とする事業展開

事業展開を計画し、第２ステージでの事業開拓・研究開発を推進していく！

第1ステージ（従来製品）

サイバニクス治療を実現する医療用HALを中心に、研究開発・臨床研究・治験・保険適用・国際展開を推進
AI搭載清掃ロボやAI画像処理３次元光音響イメージング装置の展開



第2ステージ（新型・新規製品）



HCPS基盤　C-Cloud（データ集積・AI処理）

2026　2027

臨床開発

医療用HAL（下肢タイプ）医療機器承認の進捗状況

欧米で脳性麻痺・脊髄疾患の医療機器承認・認証取得

2026年9月30日現在

		脳卒中	脊髄損傷	神経筋疾患*	その他疾患	小型サイズ
日本		（追加治験準備中）	（当局と協議中）	承認	• HTLV-1関連脊髄症（HAM） • 遺伝性痙性対麻痺	承認
米国		承認	承認	承認	• 脳性麻痺 *12歳以上 • HTLV-1関連脊髄症（HAM） • 遺伝性痙性対麻痺	承認
EMEA	欧州（EU）	承認	承認	承認	• 脳性麻痺 • HTLV-1関連脊髄症（HAM） • 遺伝性痙性対麻痺	承認
	トルコ	承認	承認	承認		
	サウジアラビア	承認	承認	承認		
APAC	マレーシア	承認	承認	承認		
	インドネシア	承認	承認	承認		
	タイ	承認	承認	承認		
	シンガポール	承認	承認	承認		
	インド	承認	承認	承認		
	台湾	承認	承認	（申請中）		
	オーストラリア	承認	承認	承認		

*神経筋難病8疾患（ALS、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋委縮症、シャルコーマリートゥース病、筋ジストロフィ、封入体筋炎、遠位型ミオパチー、先天性ミオパチー）

臨床開発パイプライン

2026年9月30日現在

	対象疾患	製品開発	臨床試験(探索的試験)	治験(検証的試験)	医療機器申請・審査	医療機器承認(日本では保険適用)	上市(市販後試験等)	保険適用	現状
下肢	進行性神経筋難病(ALS・筋ジストロフィー等８疾患)								公的医療保険適用 令和4年度診療報酬改定でプラス改定
									医療機器認証取得・上市
									医療機器承認取得・上市
	脊髄疾患(ウイルス性・遺伝性の２疾患)								公的医療保険適用
									医療機器承認取得・上市
									医療機器承認取得・上市
	脊髄損傷							公的労災保険適用済（ドイツ）	当局と保険適用に向けて協議中
									独公的医療保険に向けた臨床試験開始
									医療機器承認取得・上市
	脳卒中								追加試験(治験)の準備中
									医療機器認証取得・上市
									医療機器承認取得・上市
腰	パーキンソン病								治験に向けて準備中

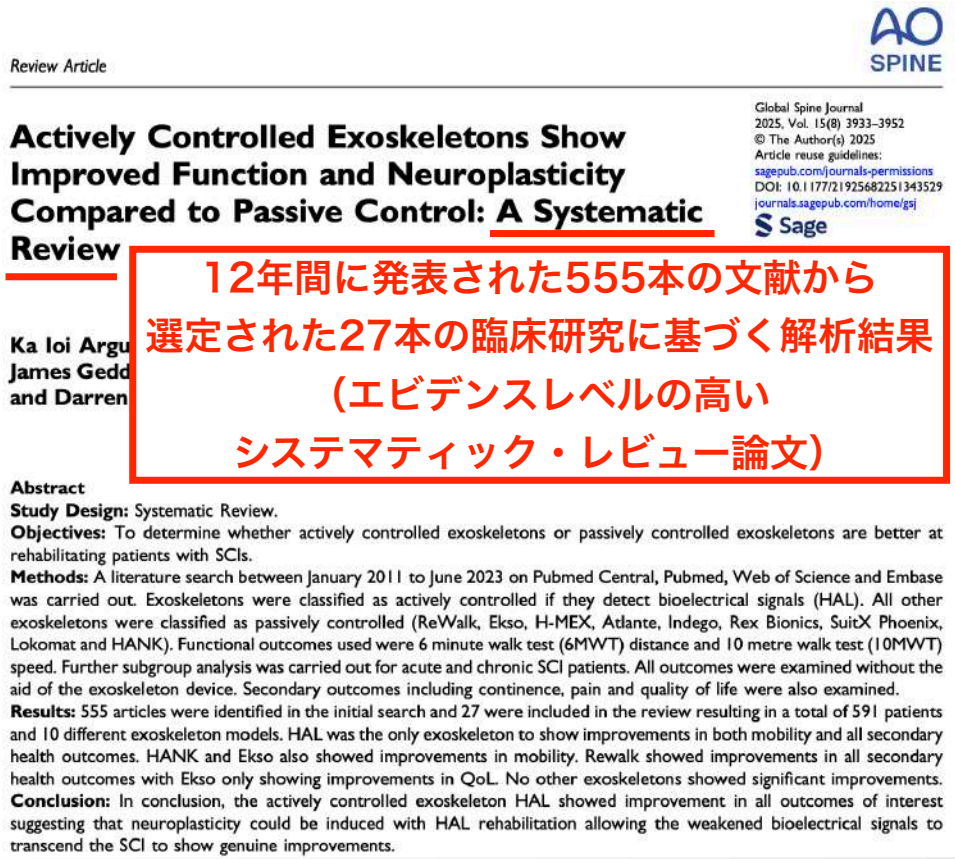
＜脊髄損傷(ドイツ)＞
公的医療保険適用に向けた臨床試験が開始
（2026年8月に1例目の治療が開始）

＜脳卒中(日本)＞
最新の患者像や臨床ニーズを踏まえ、
医療用ＨＡＬ下肢タイプ（両脚モデル）
新型モデルにて治験の準備中

パイロットでの良好な結果を踏まえ
腰タイプによる治験準備中

装着型サイボーグHALによるサイバニクス治療の効果

HALは身体機能の改善に加え、神経可塑性を誘導し、全身的な治療効果を有する唯一のデバイスとして国際医学誌に掲載（類似形状製品との比較結果）



Review Article

AO SPINE

Global Spine Journal
2025, Vol. 15(8) 3933–3952
© The Author(s) 2025
Article reuse guidelines:
sagepub.com/journals-permissions
DOI: 10.1177/21925682251343529
journals.sagepub.com/home/gsj
Sage

Actively Controlled Exoskeletons Show Improved Function and Neuroplasticity Compared to Passive Control: A Systematic Review

12年間に発表された555本の文献から選定された27本の臨床研究に基づく解析結果（エビデンスレベルの高いシステマティック・レビュー論文）

Ka Ioi Argu
James Gedd
and Darren

Abstract

Study Design: Systematic Review.

Objectives: To determine whether actively controlled exoskeletons or passively controlled exoskeletons are better at rehabilitating patients with SCIs.

Methods: A literature search between January 2011 to June 2023 on Pubmed Central, Pubmed, Web of Science and Embase was carried out. Exoskeletons were classified as actively controlled if they detect bioelectrical signals (HAL). All other exoskeletons were classified as passively controlled (ReWalk, Ekso, H-MEX, Atlante, Indego, Rex Bionics, SuitX Phoenix, Lokomat and HANK). Functional outcomes used were 6 minute walk test (6MWT) distance and 10 metre walk test (10MWT) speed. Further subgroup analysis was carried out for acute and chronic SCI patients. All outcomes were examined without the aid of the exoskeleton device. Secondary outcomes including continence, pain and quality of life were also examined.

Results: 555 articles were identified in the initial search and 27 were included in the review resulting in a total of 591 patients and 10 different exoskeleton models. HAL was the only exoskeleton to show improvements in both mobility and all secondary health outcomes. HANK and Ekso also showed improvements in mobility. Rewalk showed improvements in all secondary health outcomes with Ekso only showing improvements in QoL. No other exoskeletons showed significant improvements.

Conclusion: In conclusion, the actively controlled exoskeleton HAL showed improvement in all outcomes of interest suggesting that neuroplasticity could be induced with HAL rehabilitation allowing the weakened bioelectrical signals to transcend the SCI to show genuine improvements.

HALと、９種類の類似形状の他社外骨格型の製品（ロボット制御で動作が繰り返される装置）と比較した結果、当社の**HALのみが神経可塑性を誘導し全身的な治療効果を示す唯一のデバイス**であることが明確に

HALの基本原理によって実現される中枢系と末梢系の間で構成される反復的な神経伝達のプロセスが、脳や脊髄における信号の学習と強化を促し、最終的には脊髄損傷部位以下の**神経回路の再構築・再活性化、部分的な神経支配の回復**へと繋がると考察

神経可塑性の誘導機構により、HALは歩行機能のみならず、**排尿・排便機能、疼痛、QOL（生活の質）といったあらゆる二次的健康指標にも一貫した改善効果**を示す

脊髄損傷に対するサイバニクス治療

慢性期脊髄損傷（受傷後平均約７年)でも、歩行機能が大きく改善

ドイツ・BG大学病院Bergmannsheil（ボーフム）における前向き研究

試験デザイン

55名	慢性期の脊髄損傷患者
平均6.85年	受傷からの経過期間
60回	HALトレッドミル歩行訓練 （12週間×週5回）
HAL非装着	の状態で治療前後を評価

10m歩行速度 **約2倍**

治療前 → 12週後。平均10m歩行時間（70.5秒→35.2秒、−47%）を歩行速度に換算。

6分間歩行距離

約1.5倍

歩行の持久力も向上

歩行補助具への依存が減少

24 / 55名

全体の43.6%

WISCI II 平均1.69点改善

過去の研究成果（注）や、これまでBG大学病院Bergmannsheil（ボーフム）で蓄積された膨大な臨床データが解析・評価され、G-BAによる公的医療保険の実証制度が適用されることになった。

出典：Grasmücke D, et al. Neurosurg Focus. 2017;42(5):E15. doi:10.3171/2017.2.FOCUS171

注：単群の前後比較試験（対照群なし）。数値は同論文の報告値。10m歩行時間・6分間歩行距離の変化率は論文記載値、速度約2倍は平均歩行時間からの換算。

本研究を含む臨床データに基づき、米国FDAによる医療機器市販承認（2017年）

ドイツでは、公的医療保険適用に向けた臨床試験が開始（公的労災保険は適用済）

公的医療保険に向けた臨床試験の開始（ドイツ）

ドイツ公的医療保険に向けた臨床試験が開始（2026年8月）

臨床試験の科学的な実施支援・評価費用はG-BAが負担。試験に伴う治療費は公的医療保険から償還

ドイツ公的医療保険の実証制度（Erprobung、社会法典第5編第137e条）

有望な新規治療方法について、公的医療保険の最高意思決定機関であるG-BA（ドイツ連邦共同委員会）が臨床試験の枠組みを定め、独立した科学研究機関による臨床試験の実施・評価を経て、公的医療保険適用の可否を判断する制度。本制度では、**臨床試験の科学的な実施支援・評価費用をG-BAが負担**するとともに、**試験に伴う対象治療費についても公的医療保険から償還**される仕組みとなっている。

試験名：EFeQT試験

対象疾患	慢性期脊髄損傷
試験デザイン	多施設共同ランダム化比較試験（RCT）
予定症例数	180例
治療期間	12週間、週5回、最大60回
評価・追跡	歩行機能等を評価し、治療終了後も6か月間追跡

臨床試験中のHALの費用は公的医療保険がカバー

1回当たり334.71ユーロ/約5万9千円

（1人最大60回）

※医療機関には治療実施に係る診療報酬が別途設定

2026年8月に1例目の治療が開始

サイバニクスの世界展開・国際連携強化

サイバニクス技術の国際プラットフォーム化戦略

世界各国・地域の政治/行政/アカデミア/関連業界と連携して展開



Cyberdyne Care Robotics
(ドイツ)

CYBERDYNE
本社

EMEA拠点
Cyberdyne Care Robotics GmbH (Germany)



Coopselios
(イタリア)



PERKESO – REHABILITATION CENTRE MELALA
(マレーシア)

APAC拠点
CYBERDYNE MALAYSIA SDN. BHD.



Singapore General Hospital
(シンガポール)



RISE Healthcare Group
(米国カリフォルニア州)



Brooks Rehabilitation
(米国フロリダ州)

米州拠点
CYBERDYNE USA INC.

EMEA : Europe, Middle East and Africa

マレーシアでのサイバニクス技術の展開

東南アジア最大級の医療複合施設 「国立神経ロボット・サイバニクス・リハセンター」

Pusat Rehabilitasi PERKESO Sultan Nazrin Shah





- ✓マレーシア北部 Perak州 Ipohに位置
- ✓第1期プロジェクト
  - ✓15.6ヘクタール（東京ドーム3.4個分）
  - ✓総床面積は、約86,400平方メートル
- ✓常時700人の患者を収容することが可能

単一施設での最大導入台数（65台）

HALに加えて、他のサイバニクス製品や
当社が出資するC-Startup企業とも連携し、
サイバニクス産業の社会実装拠点へ

PERKESO国立神経ロボット・サイバニクス・リハセンター全景（写真：PERKESO）・外観

マレーシアでのサイバニクス技術の展開

「国立神経ロボット・サイバニクス・リハセンター」正式オープン（2026年6月）







PERKESO国立神経ロボット・サイバニクス・リハセンター開所式・内観（写真：PERKESO）

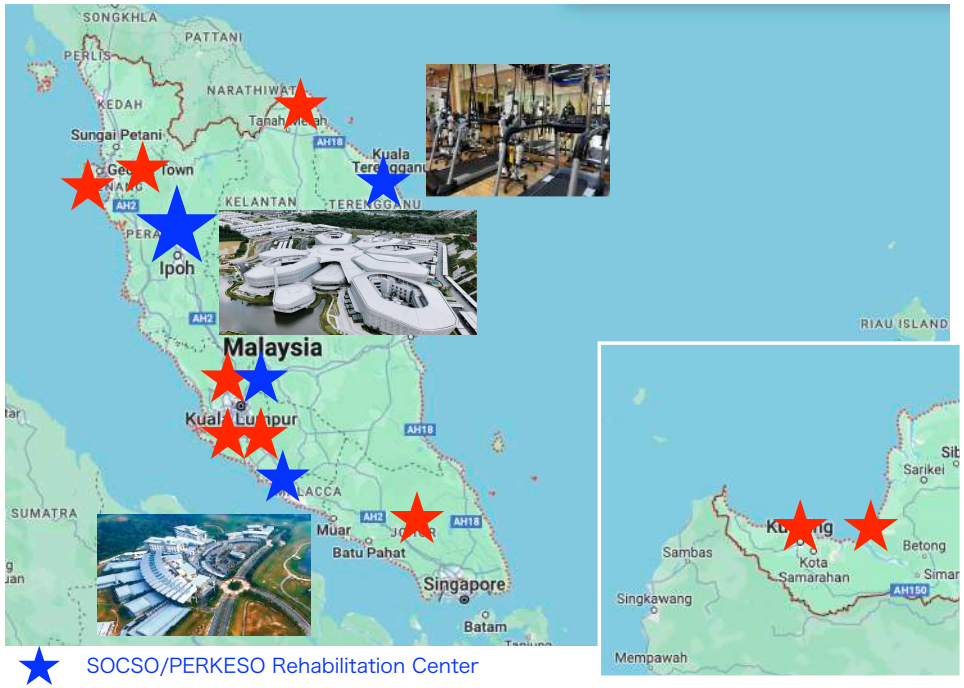
マレーシアでのサイバニクス技術の展開

社会保障機構は、国内に更に２箇所の施設拡大を計画中

SOCSO/PERKESO (従業員社会保障機構)

障害年金、遺族年金、医療保障、労働災害保障の4つの機能があり、マレーシア人および外国人労働者は強制加入。
通勤中や業務従事中に起きた疾病や傷害に対し、医療補償、障害補償、葬儀給付、養育費、介護給付などが支給される。

マレーシアHAL導入施設（現在15施設）



★ SOCSO/PERKESO Rehabilitation Center

Socso urged to build three new rehabilitation centres in five years

Bernama
15/01/2024 16:00 MYT

**2024/1 人的資源省大臣が、
SOCSO(PERKESO)リハセンターの
全国拡大を要請（5年以内にIpho含めさらに3箇所）**



https://www.astroawani.com/berita-malaysia/socso-urged-build-three-new-rehabilitation-centres-five-years-454129

米Pegasus Tech Venturesと戦略的業務提携

「HCPS融合サイバニクスwithフィジカルAI」領域の事業創出とグローバル展開を加速



Pegasus Tech Ventures, Inc.

- 米国シリコンバレーを拠点とするグローバルベンチャーキャピタル
- 世界各国の有望スタートアップや先進企業を結ぶイノベーションプラットフォームを展開

<u>戦略的業務提携の目的</u>

✓ 世界各国の有望スタートアップ、先端技術およびイノベーションエコシステムへのアクセスを強化

✓ HCPS融合サイバニクスwithフィジカルAI」領域における技術開発や事業共創を推進

免責事項

本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。


CYBERDYNE